

【機械・ロボット科 2年】アーク溶接実習



令和2年7月、機械・ロボット科2年生の実習において、アーク溶接を行っています。前回は、ガス切断を学びました。

アーク溶接とは、空気(気体)中の放電現象(アーク放電の熱 5000~7000℃)を利用して、同じ金属同士をつなぎ合わせる溶接方法で、用途は広く、自動車、鉄道車両、船舶、航空機、建築物、建設機械など、あらゆる金属構造物に一般的に使われています。

3年次では炭酸ガスアーク溶接・スポット溶接、TIG溶接を学びます。